



防災意識の高揚 ～風水害に備えて～



新しい防災気象情報等について

令和8年の出水期から「レベル4相当の情報として危険警報の新設」や「情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表（例：レベル4大雨危険警報等）」されるなど防災気象情報が一部変更となります。

「自分の命は自分で守る」ためにテレビやインターネットなどで情報を確認しましょう。

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとに) 住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

参考【防災気象情報の改善について(気象庁、国土交通省)】

大雨による災害から身を守るには

川には絶対に近づかない

大雨で急に水があふれることがあるので、川には絶対に近づかないようにしましょう。

アンダーパスは通らない

アンダーパス（交差する道路などの下を通り、周辺の道路より高さが低くなっている道路）は、水に浸かっている危険があるので注意しましょう。

水に浸かっている道路は注意

水に浸かっている道路は、マンホールや側溝のふたが外れていても見えず、転落する可能性があるので注意しましょう。
やむをえず水に浸かっている道路を歩く場合は、傘などで足元を確かめながら進みましょう。



土砂災害に注意

崖の近くや山沿いでは、警報が発表されていなくても注意をしましょう。
土砂災害の前兆が見られたら、避難しましょう。

土砂災害の前兆

崖崩れ

崖にひび割れができる。小石がバラバラと落ちてくる。

地滑り

地面のひび割れや陥没などができる。崖などから水が噴き出す。

土石流

山鳴りがする。急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。腐った土の臭いがする。



乗物盗の被害が発生しています！

～自転車やオートバイの被害に遭わないために～

- ◎ カギをかける！
- ◎ ツーロックにする！
- ◎ 駐輪場に駐輪！

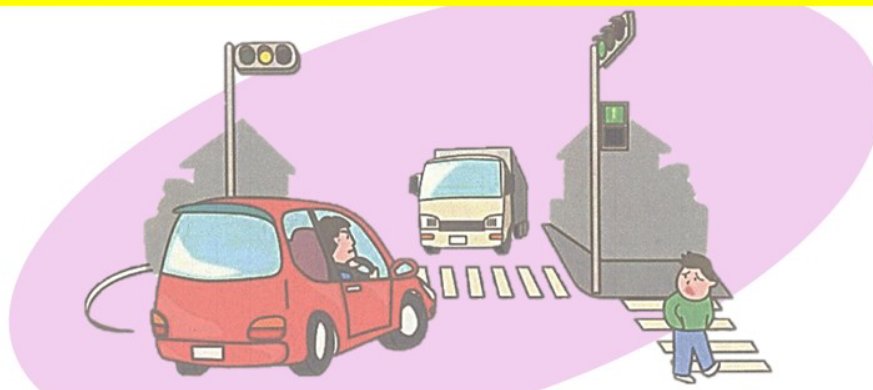


須磨警察署からのお知らせ

右折・直進事故に注意！

重大事故を防ぐために交通安全のお願い

右折・直進事故の多発！
交差点付近の交通事故の約半数を占めています。



右折車のポイント

- ✓ 対向直進車の距離と速度を「余裕をもって」判断
- ✓ 黄色信号での無理な右折はしない
- ✓ 歩行者・自転車の二重確認（右折先の横断歩道）
- ✓ 「行ける」ではなく「確実に安全」で右折

直進車のポイント

- ✓ 交差点進入前にアクセルを緩める
- ✓ 右折車の動きを常に予測
- ✓ 黄信号は無理に進入しない
- ✓ 夜間は早めのライト点灯で被視認性向上

共通の重要意識

- ✓ 「相手は見落とすかもしれない」と考える
- ✓ 視線だけでなく動きで意思表示（減速・停止）
- ✓ 焦り・急ぎが判断ミスを招く

交差点ではお互い安全運転！

須磨警察署